



温かなパンで暖かな心を

移動パン屋フリージア

「障がい者である前に人間である」

アメリカのピープル・ファーストの言葉
「いらつしやいませ」

移動パン工房フリージアは、NPO法人フリージア理事長である後藤さんが、朝4時から9時までかかってパンを作り、知的障がいの方や精神障がいの方達が、売っています。

後藤さんは、まず障がいのある子供が学校に入れることに奔走し、その後、障がい者施設や学校を卒業して知的・精神障がいの方の訓練や働く場所を提供するフリージアを立ち上げました。

障がい者が楽しく働くことと「最低賃金の確保」を目標に掲げておられます。「障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができる」ようにすることを目的とする障害者自立支援法が平成17年に施行されました。推定で全国人口の5%の方が障がいを持っておられます。

しかし、身体障がいの方の働く場所は多くありますが、知的障がいの方や精神障がいの方は、身体障がいの方と違って、外見からは、障がいが見えてきませ

ん。また、人との接し方、コミュニケーション

ンが取り辛くハローワークでもなかなか仕事をみつけないのが難しい状況です。身体障がいの方を4とすると精神障がい1知的障がい1の割合の求人率になります。

授産所は、(身体障害者や精神障害者、ならびに家庭の事情で就業や技能取得が困難な人物に対し、就労の場や技能取得を手助けする所)や作業所は少なく、知的・精神障がいの方を受け入れが思うようにできておりません。

「訓練すれば働ける」

知的・精神障がいの方達は訓練すれば、健常者の7〜8割の仕事ができます。訓練して働けるようになるまで個人差はありますが、働くことにより社会的に貢献でき、自立してグループホームを出てアパートを借りて生活できるようになった方も2名おられます。フリージアで働き始めて、2年位経った鎌田さんは、仕事を終えると「今日も卒なく終わったな」という達成感を感じ、細く長く、これからも頑張りたいと思っておられます。

4月からは、荒川区内の公衆トイレの清掃の研修もして少しずつ活動の場を広げられています。

平成18年から出発進行した移動パン工房フリージア号は、メロンパン・アンパン・クロワッサン巻・アップルパイ等種類は豊富に販売しています。

・水曜(祝日は除く)は、荒川社会福祉協

議会前(イトーヨーカドー前)で午前10時半〜午後4時まで販売

・木曜(祝日は除く)は荒川区役所の正面入口東側で午前9時〜午後5時まで

・土日・祝日はあらかわ遊園内で午前9時〜午後5時まで

第2・第4木曜は荒川郵便局で販売し、さらに清泉女子大キャンパスや大崎にある前田道路(株)まで、フリージア号は快走しています。

「メロンパンは特に売れています」

水曜日にイトーヨーカドーの前で、パンの美味しそうな匂いに惹かれてメロンパンを買って食べました。暖かくできたメロンパンのまわりはサクサクして中はもちもちりしており美味しかったです。売上げは、販売している障がいのある方達の収入になります。パンを買って障がいのある方達の自立の手助けを致しませんか。

また、パン工房フリージア号の営業場所の提供や寄付も募っております。



特定非営利法人フリージア

TEL (3893) 7778

FAX (3893) 3046

E-mail : gbs@eos.ocn.ne.jp